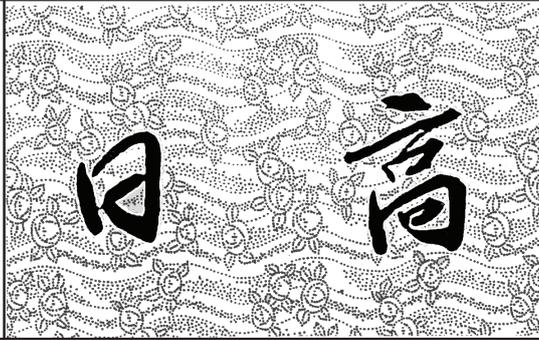


日高地区概況

令和6年1月1日現在
 世帯数 9,335
 人口 21,308
 男 10,388
 女 10,920

※この概要は日高支所管内の統計による



第216号

発行日 令和6年1月20日
 発行 日高学区市民自治会
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/>
 代表者 志賀 勝 弘
 編集責任者 志賀 勝 弘
 印刷 おぎつ印刷

明るく住みよい「まちづくり」に

新春初顔合わせ

日高学区新春初顔合わせ
 会が1月6日、日高交流セ
 ンターで開かれました。
 志賀勝弘市民自治会会長
 の「新年を迎えましたが、
 新年早々に石川県の方面に
 大きな地震が発生し、被害
 を受けている方々を思うと
 胸がいたみます。昨年の台
 風の豪雨により日高地区で
 も災害が発生し、心の準備
 や日ごろの備えが大切だと
 いうことを改めて感じてい

ます。コロナ禍が緩和され、
 まちの賑わいも戻ってしま
 したが、高齢化が進み、自
 然災害も発生しています。
 コミュニティの基盤である
 町内会の縮小や各種団体の
 解散などが見られ、地域の
 福祉や自然災害を考えたと
 きに、まちづくりに対する
 より一層の結束が必要と考
 えます。まちづくりは、行
 政による施策と町内会や各
 種機関・団体と全ての人の



新年の賀詞交歓をする参加者



初笑い抽選会大賞を当選した
太田康夫さんの万歳三唱

の協力で成り立っており、
 皆で意見を出し合い結束す
 る意識が必要と考えます。
 まちづくりには何が大切で、
 何が必要かを皆でもう一度
 考え、話し合う機会にして
 ほしいと願います」と力強
 いあいさつで始まりました。
 来賓の松本正生日立市保健
 福祉部長、添田絹代地元市
 議、途中で駆け付けた石川
 昭政衆議院議員の日高地区
 への思いのこもった挨拶を
 頂き賀詞を交わしました。
 初笑い抽選会では、ふれ
 あい事業部の太田さんが大
 賞に当選し万歳三唱で閉会
 となりました。

今年の抱負

初笑い大賞を引き当てた
 太田さんと参加者のみなさ
 んに抱負をお聞きしました。
 ・太田康夫さん(73歳)「地
 域の皆さんと、明るく楽し
 い一年にしていきたい」
 ・五月女五美枝さん(83歳)
 「あまり頑張らず自然体に
 過ごし、民話の会も続けて
 いきたい」



祝賀会で知事と記念撮影

志賀会長
県功績者表彰に輝く

茨城県の様々な分野で、
 功績を残した方々に対する
 令和5年度の表彰式が昨年
 11月10日に、茨城県庁内で

- ・海老沢清さん(88歳)「好
 奇心を持ち続ける。ごみの
 落ちていないきれいな日高
 にしていきたい」
- ・豊田清明さん(83歳)「健
 康第一に日曜大工でいろい
 ろな物を作りたい」
- ・見城美智子さん(79歳)「旧
 友との親交を再開したい」
- ・前野房三さん(73歳)「野
 球およびサッカー大会の開
 催を今年も継続させたい」
- ・小松秀男さん(65歳)「地
 域の安全を守り続けたい」
- ・小林修さん(71歳)「ケガ
 をしないように注意して楽
 しく走りたい」
- ・佐藤弘光さん(59歳)「健
 康第一に写真撮影や美味し
 いお酒を楽しみたい」

行事予定

(1月21日～3月20日)

日高学区市民自治会

○再生資源拠点回収

1月28日(日)

2月25日(日)

時間 8時半～11時まで

日高交流センター

○クリーンアップデー

2月11日(日)

日高学区内全域

○「東連津川をきれいにす

る会」の清掃実施

2月11日(日)

東連津川流域全般

◎新型コロナウイルスの感
 染状況により行事が中止に
 なる場合があります。

役員会報告

12月22日の本部支部役員
 会で次の事項について協議
 しました。

- * 新わら細工教室
- * 新春初顔合わせ会
- * ふれあい鳥追い祭り
- * 手作りみそ教室
- * 交流センターのエレベーター工事に伴う施設一部使用不可

日高交流センター恒例の 年末大掃除

小雨模様の12月16日、交流センター恒例の年末大掃除が催されました。

当日は、交流センター体育館で日頃練習をしている日高中学校の男女バスケット



皆さん、頑張って掃除をしましょう

ト部員や、各種のサークル活動をしている地域住民など総勢90名を超える地域住民が集まりました。

午前9時に自治会事務局から掃除を行ううえでの留意事項等の説明があり、そのあと参加者は交流センター建物内部の各部屋、そし



中学生たちも力を合わせて側溝掃除



飛躍の辰年になれ!

「辰」の 出来栄への感激

健康推進部は12月7日、恒例の折り紙教室を日高交

流センターで開催しました。この教室は朝日正子さんを講師にお迎えしてから14年が経ちました。皆さんは毎年、来年の干支が折れると心待ちにしており、今回も19名の参加がありました。令和6年の干支は辰です。今年も金色の折り紙が用意され、最初に頭を作り、その後は胴体になる三角を35枚折り、さらにそれを辰の姿になるよう差し込み繋げていきました。思い通りにいかず、苦心していた方もいましたが、全員が見事な辰を完成させました。



調理室もピカピカに

て裏の駐車場やグラウンドなど、持ち場に分かれて大掃除を始めました。

皆さんの熱心な掃除のおかげで当初の予定よりも早い10時30分には交流センターは気持ち良いほど綺麗になりました。

帰りには、まだ温かい酒饅頭とペットボトルのお茶をお土産にもらって解散となりました。

後日、門松が飾られ、いつでも新年を迎えられる準備が整いました。



労働の後には美味しい酒饅頭を

参加者は「折り紙で作ったとは思えない出来栄えに参加して良かったです」と話していました。

小さな輪 大きな輪

日高短歌会

今年また健康願って沖遠く昇りくる陽に両の手合わす

久保田絹江

三世代の連係ブレイ恒例のお供え餅を八組作る

小野 白梅

いくつもの祈りを乗せて流れ星澄みわたる冬の紺碧の空

鈴木喜美子

(令和五年日立市民短歌大会文化協会会長賞)

自が夢を三十一文字に託し漕ぐ木の葉の舟の権のおぼろげ

小野 勝子

日高短歌会は40年の長い歴史をもつ。

冒頭の短歌にもあるが、たった三十一文字だが、情景や詠み人の心が目に浮かび共感できる正に語呂が良い文である。月に一度の活動では、前月に歌を提出しておき、翌月の活動日に評価をもらうとの事。気の長い話

現在平均年齢70歳。12名在籍。どなたでも大歓迎ですが、特に男性が少ないので募集中との事。

毎月第二土曜日午後一時〜四時くらいまで講師を招いて勉強をしている。若い方も参加し易い時間帯なので日本文化の美しさに触れる豊かな時間を体感してみてもどうでしょうか。

(菊池理可子)

新年に願いを込めて ジャンボ門松制作

ジャンボ門松制作

毎年、年末に日高交流センター正面玄関に飾られる恒例の、ジャンボ門松の制作を12月19日に市民自治会

会長の指導により6名の有志で行いました。高さ約2.5

mの若竹3本を荒縄で規定回数に一纏めに括り付けた

ものをポリバケツに入れて立てかけ、根元を笹・松・



門松づくりに取り組む面々



飾りを取り付け完成です

荒縄の密巻きなどで装飾します。南天、千両、梅花、正月飾りなどを取り付け完成です。いろいろノウハウがあるものの、和気あいあいのなか、2基制作し玄関に設置しました。今年、辰年です。雲を突き破って天高く進む竜のごとく、何事にも前向きに取り組む爽り多き年にしたいものです。決して「竜頭蛇尾」にならないようにお互いに頑張っていきたいと思います。

支部役員改選の準備を 2月末までに届け出

2月末までに届け出

各支部・町内会では、令和6年度の支部役員(支部長、副支部長、常任委員、自治委員)の改選の準備を進めて下さい。

支部長は任期が2年となつていますが、支部内でよく協議して選出して下さい。その他の支部役員は、任期は1年ですが、各町内とも高齢者などには配慮したうえで輪番制になっているところが多いようです。

2月5日の市民自治会役員会で詳細を説明し、改めて新役員選出のお願いをします。現支部長には、2月末日までに、新役員の名簿をまとめ、市民自治会事務局まで届けて頂きます。

ふれあいサロン情報交換会で「より楽しい活動を考える」

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、高齢者等が近所の集会所に気軽に集



「ロイヤルサロン小木津山」での活動の様子

える、ふれあいサロン事業を実施しています。通称、おげんきクラブ、日高学区の高齢者等205名が会員登録し楽しく活動し、交流を深めています。12月21日には、交流センターにて、令和6年度の事業計画書作成のために、西町、西本宿、東本宿、安良宿西、安良宿東、松ヶ丘、静原、小木津浜の代表者が参加し、ふれあいサロン情報交換会を行いました。会議では、各ふれ

あいサロンの活動の様子、会員数減少やボランティアスタッフの担い手不足、昨今の物価高による活動費増額の要望などが話題に上りました。

特に、高齢者は皆で一緒に体を動かし取り組むような活動が楽しめているようだ」との意見は、参加者全員が納得しました。

日高学区の各ふれあいサロンは、脳トレ、シルバリハビリ体操、介護や健康に関する講演会、バス研修旅行、運動会、クリスマス会などを実施し、各々が工夫を凝らした、特色ある活動をしていることが伝わってきました。

各サロンの代表者とボランティアスタッフが、会員の笑顔を思い浮かべながら、令和6年度の活動計画を立てていくそうです。

おもちゃライブラリーでクリスマス会を実施

日高学区市民自治会社会福祉委員会の子育て支援事



子どもの声も賑やかに

業おもちゃライブラリーでは、12月20日にクリスマス会を実施しました。ツリーが装飾された会場に、6組の親子が集い、サンタさんからクリスマスプレゼントをもらいました。おもちゃで遊んだり、お友達同士おもちゃを譲り合ったり、お母さん同士でお話をしたり、思い思いに楽しい時を過ごしていました。

福祉委員会からのお知らせ

日高交流センターのエレベーター取り付け工事に伴い、交流センターを会場に活動している福祉事業は、

東日本大震災と福島原発事故に学ぶ自治会研修旅行

日高学区市民自治会主催の研修旅行を11月25日に32名の参加で実施しました。本行事はコロナ禍で4年ぶりの開催です。

今年研修先は、福島県双葉町の「東日本大震災・原子力災害伝承館」です。平穏な暮らしを一変させた地震と津波、原発事故、複合災害の始まりを克明に

美味しい味噌は手作り

去る12月23日の午後、日高交流センターで、自治会健康推進部主催の味噌作り教室が開催されました。講師は百年塾市民教授の蛭田三男さんです。センターのエレベーター工事の関係で例年よりも前倒ししての実施でした。39名の参加者は皆で協力して、味噌作りを楽しんでいました。



家族に美味しい味噌を

伝えていきました。錯綜する情報、事故発生直後の状況避難状況など、また、複合災害による県民の想いを発信していること、長期化する除染、風評の払拭など、まだまだ課題の多いことなどを実感しました。

陸前浜街道の常磐線踏切を小木津浜に数百メートルばかり進むと、右手にこんもりとした森が見えるのが、境内には木々に覆われ、朱色の鳥居をくぐると神聖な空気に包まれます。



原子力災害伝承館での研修を終えて

ふるさと郷土ひたか (25)



新年を祝う参拝者たち

澳津説神社

「東連津川風土記」より 日高郵便局前の参道を百メートル程歩くと、樹齢300年以上と思われるご神木と共に、澳津説神社が鎮座する。この神社は、天文十三年(1544年)村内の権現山に創立、万治元年に御立山と呼ばれた今の地に移った。元禄七年(一六九四)藩主水戸光圀の命により、一村の総鎮守となった。澳津説神社の旧称が稲荷大明神であることから、現在も「正一位稲荷大明神」の号札がかかげられ、拝殿には二匹の白狐が配されている。また、貴重な大絵馬や、三十六歌仙と思われる古い絵画がある。九六七坪の境内には九つの境内社があり、明治九年三月新建の祖霊社もある。祭神は事代主命、宇賀御魂命。例祭は陽曆五月八日である。(注) 現在は五月五日

新しい年に願いを込めて わら細工教室が大賑わい



立派なしめ飾りを手に

寒さの増した年末12月24日に日高交流センターで毎年恒例のわら細工教室が開催されました。地元の小野俊郎さんから提供され、前日に有志の手でわらすぐりしたわらが用意されました。当日は31名が参加して、新しい年を迎えるためのしめ飾り作りに挑戦しました。



うまく出来るかな

木田勝壽さんからいただいたゆずり葉や大武光子さんの橙と事務局用意の装飾セットを受け取って早速作り始めました。指導は例年通り自治会の志賀会長と根本とよさんです。会場には終始和やかな空気が流れており、常連と初心者と共に一生懸命に作品を作りました。

参加者は、「形が上手にできなくても楽しくつくれました」と話していました。最後に皆で集合写真を撮って、教室は盛況のうちに終了しました。

東連津川の大雨

被害調査に同行

12月3日にジオネット日立による東連津川大雨被害調査が実施され、日高学区市民自治会からは3名が参加しました。茨城大学名誉教授の田切氏の先導で、被害を確認しつつ不動滝までを往復して調査を行いました。土砂に流されて川幅が大きくなっていくのが随所に見られ、不動明王の像もなくなっていました。参加者の中には、子どもの頃に遊んでいた場所の様子が一

東連津

安良宿東支部長 志賀 利行

私は、旅行で山や海とか温泉に行くよりも地方都市を散策するのが好む。寺社に参拝して、市電に乗り、坂道を歩き、夜は居酒屋で食事をする。さながらブラタモリと酒場放浪記を足したような感じである。そんな自分が日高の町を見ると、小木津駅からのメインストリートを中心に、すぐに住宅地があり、4車線道路もなく生活しやすさを感じる。

変じていることに衝撃を受けた人もいました。

住めば都

散歩しているとプロテリアル日高体育館から見える景色がまた良い。夕日に山が照らされ、冬の海は透明感があって美しい。そして意外に住宅が多い。同じように眺めている人を時々見かける。好物のお饅頭屋があり、東京には常磐線が一本、北に南にはすずの日立北ICから、車で数分でゴルフ場、そして有名な酒蔵もある。ここで生まれて大学進学から12年ほど離れていたが、まさに私にとって「住めば都」といえる。

あの人 この人

日高小学校長
井坂 敏子さん
(56歳)



「あいさつ、ちようせん、おもいやりそして郷土愛を」
自らが小学生時代に担任だった先生の姿にあこがれて、卒業作文に「将来は学校の先生になりたい」と書き、その夢がかなって現在日高小学校の校長先生を務められている井坂敏子先生をご紹介します。

高小学校が初めての日立市勤務だそうです。子どもたちに絶えず語りかけていることを尋ねると、「あいさつ・ちようせん・おもいやり」と応えてくれました。それらが日常化すれば、誰もが明るく元気になり、優しい心が育まれます。さらに、変化の激しい時代に生きる力の基となると考え、繰り返しお話しして

いるとのことでした。次に「学校支援に対する地域の協力の大きさに感謝そのものです」と、何度も口にされました。町探検、日高つ子体験村、おんもさ祭り……。これらが子どもたちの郷土愛の礎となり、正に「地域とともにある学校づくり」で、校長先生の経営の重点の一つとなっていると喜ばれていました。まために「創立150年の歩みを持つ歴史ある本校で、子どもたちとの笑顔あるふれあいや近代的な新校舎に励まされて、充実した教育活動を展開していきたい」と、決意を述べられました。

(豊田賢一)

広報部長木田さん 逝去

広報「日高」の発行に尽力

日高学区市民自治会広報部長の木田源一さん(74)が、11月23日逝去されました。

木田さんは、平成5年から市民自治会の広報部活動に参加し、同13年から広報部長を務めるなど、市民自治会幹部として多くの事業で活躍し、現在に至りましても活動しました。木田さんの長年にわたるご功績に感謝するとともに、ご冥福をお祈りいたします。



被害状況を確認中

県小中学校芸術祭で 日高小・日高中生が入賞

令和5年度の茨城県小中学校芸術祭において日高小学校、中学校の生徒が次のとおり入選し、11月に水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で作品が展示されました。

編集後記

コロナ禍も収束し、年末年始には、交流センター玄関の門松作り、わら細工教室(正月飾り)、小さなお子さんを連れられたご家族など多くの方で賑わった鳥追い祭が実施されました。日高市民自治会の大切な事業、また地域の文化として、これらの魅力ある催しをしつかり次世代に繋ぐために自治会広報紙からも発信したい。(佐藤賢一)

日高小学校

絵画・デザイン部
6年 黒澤 一花
書写部
1年 鈴木 優

日高中学校

絵画・デザイン部
3年 松本 妃
書写部
2年 片根 迪夏